



- 新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 〈電源工事〉素人工事は危険です。電気工事店様へ依頼してください。

■注意事項 施工にあたっては次のような点を注意してください。

●ポール

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

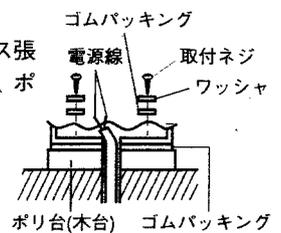
●照明灯

- ①異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
- ②注意シールが貼付しています器具はその指示に従ってください。
- ③防水形器具として使用される場合は接地工事を行なってください。
- ④取付面と器具間に隙間が発生したときはコーキング処理等の防水処理を行なってください。

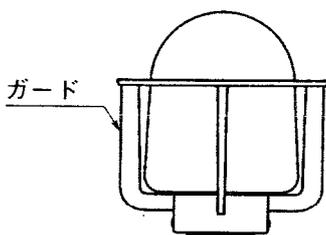
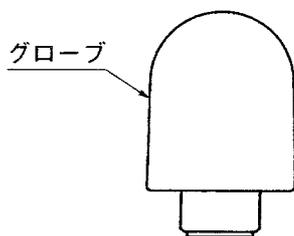
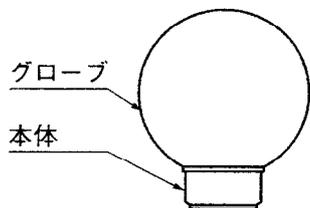
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

⑤木柱や木台に取付ける場合

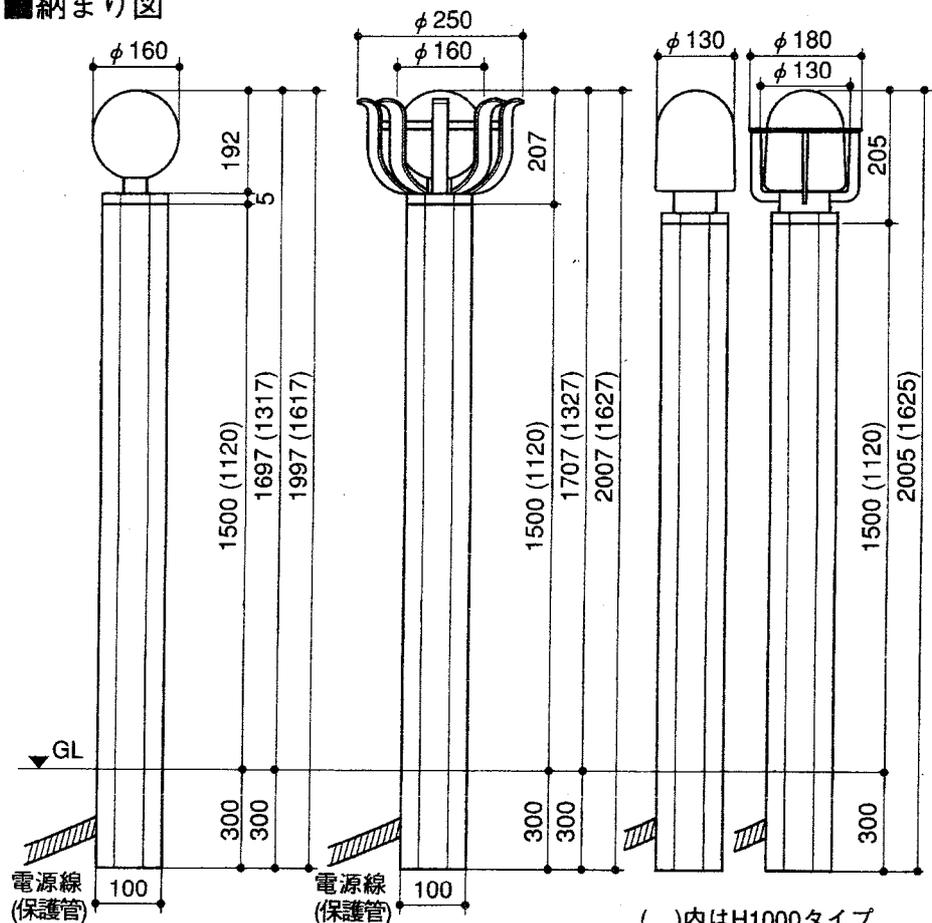
特にメタルラス張り、ワイヤラス張りの木造営物に取付ける場合、ポリ台木台が必要です。



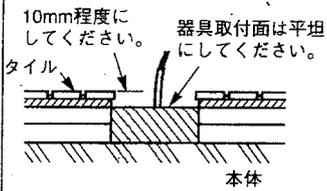
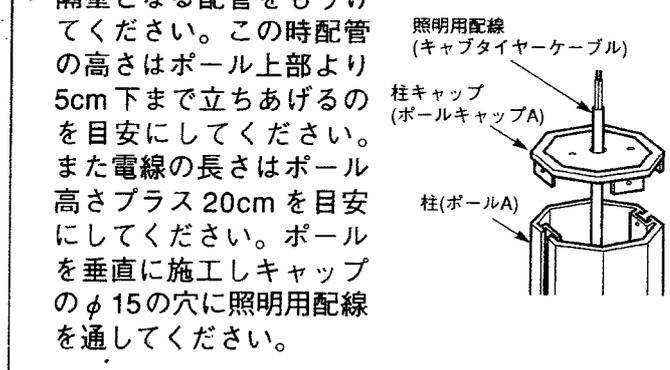
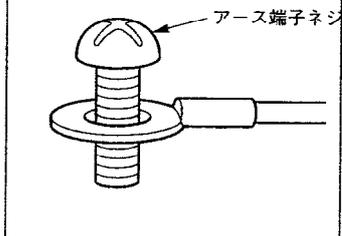
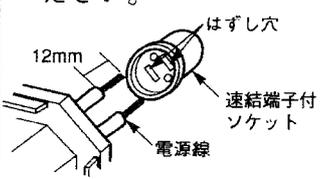
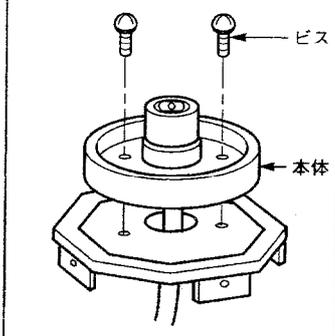
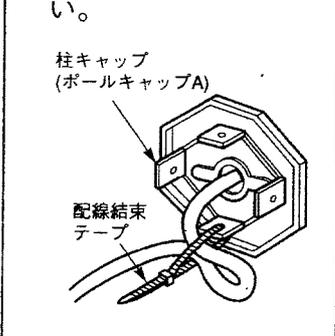
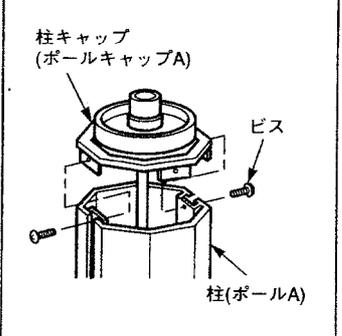
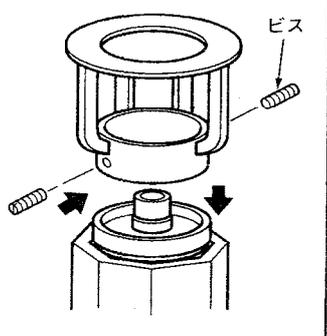
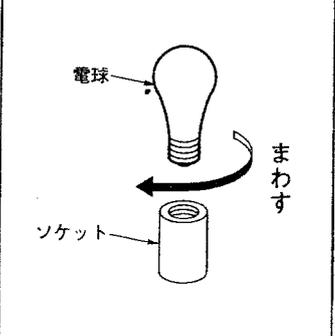
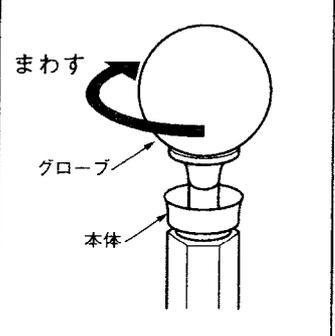
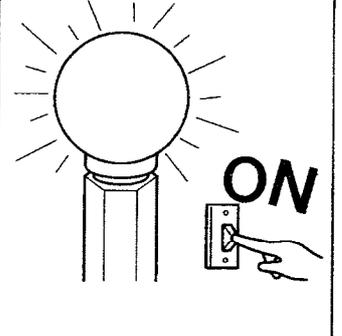
■照明器具



■納まり図



■器具の取付順序

<p>1 器具取付面を平らに仕上げます。取付面にデコボコがありますと、取付部のパッキンの防水性が損なわれますので充分ご注意ください。</p> 	<p>2 照明とインターホンを取付ける場合 低圧配線と小勢力配線は隔壁となる配管をもうけてください。この時配管の高さはポール上部より5cm下まで立ちあげるのを目安にしてください。また電線の長さはポール高さプラス20cmを目安にしてください。ポールを垂直に施工しキャップのφ15の穴に照明用配線を通してください。</p> 	<p>3 湿気の多い場所、水気のある場所に取付ける場合は、第3種接地工事を施してください。</p> 	
<p>4 電源線を照明本体の接続端子に差込んでください。キャブタイヤーケーブルの場合は付属の棒端子を取り付けてください。はずす時は解除ボタンを押してください。</p> 	<p>5 本体を付属のビス (M4×12ℓ) で柱キャップに取付けてください。</p> 	<p>6 線の余長を柱キャップの足に付属の結束テープで固定してください。</p> 	<p>7 柱キャップをポール内ビスセットのビスで固定してください。</p> 
<p>ガードタイプの場合ビスにて固定してください。</p> 	<p>8 器具の附属 (指定) 電球を確認し、ソケットに取付けてください。</p> 	<p>9 グローブを本体に取付けてください。</p> 	<p>10 電源を入れて、点灯を確認してください。</p> 

■照明保守の方法

<p>(1) グローブのお掃除は</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② 器具の取付順序の⑩を参考にグローブを取外してください。 ③ 取外したグローブは水洗いを行なった後、よく乾してから器具の取付順序の⑩を参考に取付けてください。 	<p>(2) 電球の交換方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切ってから行なってください。 ② グローブのお掃除 (1) を参考にグローブを取外してください。 ③ 指定の電球と交換してください。(指定の電球は器具に貼付けております電球シールをご確認ください。)
---	---

一般的な安全上のご注意

安全にご使用いただくために、この注意書と添付の取扱説明書をあわせてご覧の上、正しくお使いください。またこれらを保管し、必要なときにお読みください。

- (1) この注意書は、照明器具全般について、守っていただきたい内容を記載しています。
- (2) 記載内容は、添付の取扱説明書と重複しているものもあります。

■取付前に必ず確認してください

⚠ 警 告

- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
→一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- 断熱施工S形埋込器具以外は、断熱施工ができません。
→M形埋込器具等に断熱材をかぶせて施工しますと、火災の原因になります。
- 振動・衝撃・粉じん・腐食性ガス・可燃性ガスの影響を受ける場所およびサウナ風呂等の高温の場所では使用できません。
→火災・絶縁不良・落下・過熱・けがの原因になります。
- 器具と被照射面の距離に制限のあるものがあります。
本体表示並びに取扱説明書(カタログ)に従って取付けてください。
→照射距離が制限よりも近すぎますと、被照射物の焼損・変質・変色の原因になります。
- 器具を取付ける個所が、器具重量に十分耐えるかどうか確認してください。
→取付個所の強度に問題がありますと、落下・けがの原因になります。
- 器具の取付けには方向性があります。
→一部の器具を除き、指定(写真の向き)以外の方向に取付けますと、火災・感電・落下・けがの原因になります。
- 特殊な用途(乗り物・医療用・写真撮影用・信号灯等)には使用できません。
→事故の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具に使用するランプは器具ごとに定められています。
器具に適合するランプを確かめてお取付けください。
→適合しないランプを使用しますと、火災・やけどの原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおわないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
→感電・故障の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
→電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。
- 器具から煙が出たり変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。
→放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
工事店・電器店にご相談ください。
- お手入れやランプ交換の時は、必ず電源を切ってから行なってください。
→感電の原因になります。

「警告」は人身事故につながる内容を示します。

「注意」は主に物損事故につながる内容を示します。

裏面も必ずお読みください。

▲ 注 意

- 器具には、屋内使用・屋外使用また、天井専用・壁面専用等の制限があります。使用場所・用途に適した器具をご使用ください。
→守っていただかないと、火災・感電・絶縁不良・落下・けが・変形の原因になります。
- コントローラを使用する場合は、それぞれ適合したものの中から専用のものお選びください。
→適合していないと、火災・故障の原因になります。
- 一般の器具は、周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の状況で使用してください。
→高温・高湿の場合は、焼損・過熱・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
- 器具取付け時、定格電圧・電源電圧・電源周波数の区分を必ず確認してください。
→間違っただけで器具を使用しますと、ランプや安定器等の寿命が短くなったり、過熱して火災の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合は、その指示に従ってください。
→守っていただかないと、火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 一部の特殊な器具を除き、単品での使用を前提に設計・製造されています。
→器具同士を密着したり集合させて使用しますと、火災・落下・けがの原因になります。
- 電気特性などが異なる場合もありますので、互換性の表示のある当社の器具以外との連結はしないでください。
→互換性のない場合、火災・落下・けがの原因になります。
- 電気用品取締法にもとづき、器具の取付面の温度は90℃を超えないように設計・製造されていますが、取付面にご留意願います。
→単色のビニルクロス等の場合、変色を起こすことがあります。
- 点灯中および消灯直後は器具やランプが高温になります。素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。
- 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
→故障・変質の原因になります。
- 器具やランプに着色等をしないでください。
→焼損・過熱・故障の原因になります。
- 器具をまるごと水洗いしないでください。
→感電・焼損・故障の原因になります。
器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- 点検・清掃時には接合部のゆるみ、および器具やランプに損傷等がないことを確認してください。
→異常がありましたら、購入店にご相談ください。
- ランプが点滅を繰り返すなど正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
→放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。
- 照明器具の取り替え時期の目安は、通常の状態においては約8年～10年です。
→長期間の使用あるいは過酷な使用の場合、火災・漏電・落下・焼損の原因になることがあります。
- ご使用後、器具を廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
→事故・けがの原因になります。

商品のお問い合わせは……フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは……(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

- | | | |
|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| ●北海道サービスセンター ☎011 (865) 3866 | ●神奈川サービスセンター ☎0463 (95) 8008 | ●関西サービスセンター ☎0729 (85) 5521 |
| ●東北サービスセンター ☎022 (236) 4272 | ●中部サービスセンター ☎0568 (75) 5931 | ●岡山サービスセンター ☎086 (298) 3496 |
| ●関東サービスセンター ☎0489 (28) 4381 | ●北陸サービスセンター ☎076 (249) 3205 | ●広島サービスセンター ☎082 (249) 1018 |
| | | ●九州サービスセンター ☎092 (622) 4010 |

小泉産業株式会社

照明事業本部 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-8 ☎0729(86)5054

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましてまことにありがとうございます。

■取付けの際に特に守ってください

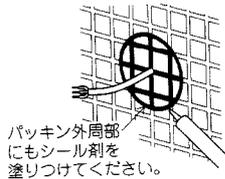
①ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

警告

△電気工事

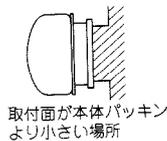
①素人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

- △タイル面等の取付面に凹凸がある場合はすき間を埋めてください。本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール等で埋めてください。
- ・防水が不完全な場合、火災・感電の原因になります。

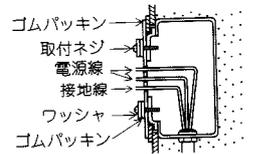


- △メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に器具を取付ける場合、器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工してください。ポリ台(木台)等と取付面の間にすき間のある場合は、防水シール等で埋めてください。
- ・防水が不完全な場合、火災・感電の原因になります。

- ①こんな場所には取付けないでください。
- ・右図のような取付けは、火災・感電・落下によるけがの原因になります。



- △ボックスに取付ける場合
- 本体と取付面の間にすき間のある場合は、防水シール等で埋めてください。
- ・防水が不完全な場合、火災・感電の原因になります。



- △湿気の多い場所、水気のある場所を取付ける場合は、必ず器具の接地端子を使ってD種(第三種)接地工事を行なってください。
- ・接地が不完全な場合、感電の原因になります。

- △取付面が十分乾燥していることを確認の上、取付けてください。
- ・器具や取付面の変色の原因になります。